



包括支援センターだより

シリーズ「認知症」

～住み慣れた地域で安心して暮らしていくために～



市では、認知症になってもその人らしく穏やかな生活を続けることができるよう、また認知症の人やその家族を温かく見守ることができるよう「認知症サポートガイド」を作成しました。

認知症サポートガイドとは

認知症の主な種類や認知症の人への接し方、早期発見のためのチェック項目、認知症の症状の進行例、相談窓口などの情報を掲載しています。

ご家族やご自身が認知症かもしれないと心配になったときに、その不安を少しでも減らし、適切な対応をするための参考として、ご活用ください。

認知症サポートガイドは、介護高齢課の地域包括支援センターや各支所地域振興課地域福祉室、医療機関などで配布しています。また、市のホームページにも掲載しています。

介護者のつどい

と き [村上] 2月17日(水)
午後1時30分～3時30分
ところ 村上市役所 相談室
対象者 市内在住の介護者
参加費 無料
申し込み 2月15日(月)までに電話
で申し込んでください。

●問い合わせ 介護高齢課地域包括支援センター ☎53-2111(内線365)
または各支所地域振興課地域福祉室



社会福祉士 八幡

与えお助け合い!

高齢者をみんなで見守りましょう

～2月は「高齢者見守り強化月間」です～

雪が降り始め積雪が多くなると、ひとり暮らしの高齢者などは、家に閉じこもりがちになります。雪で足元が悪く、高齢者用の押し車や電動カートなども動けなくなり、外出しづらくなるためです。

高齢者だけの世帯では、冬場は日用品の買い物も困難になり、外に出て近隣の人や友人と会う機会も減ってしまい、日ごろの生活の様子が変わりにくくなります。

現在、市内の高齢者のみの世帯は、約**6,200**世帯あります。高齢者が、安心して住み慣れた地域に住み続けることができるよう、町内や集落など地域の皆さんで、声かけやちょっとした除雪の援助などの温かなご支援をお願いします。



例えば、

- ・ごみ出しなどの「ついでに」の協力が大きな支援につながります
- ・除雪車が通った後は、お互いさまの心で玄関など出入り口の除雪支援をお願いします
- ・配布物、回覧板などを届けるときは、声かけをお願いします
- ・夕方、家の明かりが点いているかの確認もさりげない支援です
- ・「風邪をひいていませんか」などと笑顔で声かけも大きな見守りです

お近くの高齢者の様子がいつもと違うなどの異変を感じた場合には、ご連絡をお願いします。

●問い合わせ 介護高齢課高齢福祉係 ☎53-2111(内線367) または各支所地域振興課地域福祉室